

令和2年

目黒区教育委員会

第26回定例会会議録

(令和2年7月28日開催)

第26回目黒区教育委員会定例会会議録

開催年月日 令和2年7月28日

開催場所 教育委員会室

出席委員	教育委員会教育長	関根義孝
	教育委員会教育長職務代行者	櫻井道雄
	教育委員会委員	後藤幸子
	教育委員会委員	笹尾敦夫
	教育委員会委員	松村真理子

出席職員	教育次長	秋丸俊彦
	教育政策課長	檜本達司
	学校統合推進課長（八雲中央図書館長兼務）	
		関真徳
	学校ICT課長	今村茂範
	学校運営課長	濱下正樹
	学校施設計画課長	岡英雄
	教育指導課長	竹花仁志
	教育支援課長	細野博司
	統括指導主事	石邑由紀子
	生涯学習課長	千葉富美子

書記		佐藤洋一
		森高健二郎

(議事日程)

日程第1	協議事項	令和3年度使用目黒区立中学校教科用図書の採択について
日程第2	協議事項	令和2年度目黒区教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価(令和元年度分)報告書(案)について
日程第3	報告事項	令和2年度目黒区一般会計補正予算(第3号)の内示について
日程第4	報告事項	令和3年度隣接中学校希望入学制度の実施について
日程第5	報告事項	目黒区立八ヶ岳林間学園の臨時休園について
日程第6	報告事項	区立小学校における新型コロナウイルス感染症の発生について(7月24日時点)

資料配布

- ・令和2年9月行事予定表
- ・令和2年度目黒区立中学校における部活動の状況について

(午前9時30分開会)

- 教育長 令和2年第26回目黒区教育委員会定例会を開会いたします。本日の欠席委員はおりません。欠席職員は片山統括指導主事です。署名委員は、笹尾委員です。
- ただいま、傍聴の申請がありましたのでお諮りします。傍聴を許可したいと思いますが、よろしいでしょうか。

(各委員同意)

- 教育長 それでは、傍聴を許可することといたします。
- なお、以後、傍聴の申請があった場合には、22人までその都度許可することとし、委員の皆様にはお伝えすることはありません。
- それでは、日程第1を議題とします。

(日程第1 協議事項 令和3年度使用目黒区立中学校教科用図書の採択について)

- 説明員 (資料により説明)
- 教育長 ただいま事務局から説明がありましたが、本日も、これまでの3回の協議に引き続いて、令和3年度から目黒区立中学校で使用する教科用図書について、既にお配りしております調査研究委員会報告書及び学校調査報告書を参考にしながら協議を進めていきたいと思っております。
- 資料1の採択日程のとおり、本日は書写、数学、理科、歴史、公民、英語、道徳の7種目について協議します。
- このうち、書写、数学、理科の3種目については、次回8月4日の協議で採択候補を1社に絞る予定です。また、歴史、公民、英語、道徳の4種目については、8月18日の協議で採択候補を1社に絞る予定です。これら7種目については、これまでの協議で既に委員の皆様からご意見を伺っているところですが、本日、付け加えるご意見があれば、それを伺いながら、2社に絞っていききたいと思います。
- なお、これまでと同様、各委員及び私が発言する際に呼ぶ各教科書の発行者名については、お手元の発行者一覧に記載の協議用記

号で呼ぶことといたしますので、よろしくお願いいたします。

また、2社に絞り込むに当たって、現時点ではこの2社に順位はつけないということといたしますので、発言の際はその点をご留意願います。

では、早速本日の協議に入ります。

まず、書写から協議を始めます。

書写につきましては、7月7日の協議で、H社、I社、J社の3社に絞ったところです。

○委員 書写については、日本の伝統の文字文化を継承し、社会の中で生かすことができ、社会に出てから、必要に応じて学び直すことができる教科書がよいと思い、検討しました。

J社の教科書は、各テーマごとに「考えよう」、「確かめよう」、「生かそう」という項目で構成され、明瞭で見やすく、「学習の窓」で必要な学習ポイントが示されており、学習しやすいと思われました。また、別冊の「書写ブック」で繰り返しの学習ができるつくりとなっています。その「書写ブック」で自習するときは、本書との関連ページがあり、自習しやすいつくりとなっています。

3社いずれの教科書も、はがきや封筒での文字の書き方、時候の挨拶など、日常生活に必要な情報が掲載されており、質の高い教科書でしたが、その中でもJ社とI社の教科書が特に簡潔明瞭で見やすいと感じました。

以上から、私はJ社とI社を推薦いたします。

○委員 改めて3社を比較検討した結果、1社目はJ社を選びました。構成が分かりやすく、ステップが明快であり、毛筆だけでなく、硬筆の練習についても配慮がなされている点がよかったです。また、毛筆の書き方をQRコードで確認できる工夫がよいと思われました。

もう1社は、I社を選びました。理由としては、毛筆の筆の運び方がH社の教科書より分かりやすく書かれている点です。先生の指導では不明な点を教科書でサポートできる点がよかったです。また、H社の教科書では、QRコードで筆の運びについて確認できませんでしたが、筆の運びが示されている点もよかったです。

○委員 まずH社の教科書についてですが、文字を手書きすることの意義や豊かな文字文化を強調することで、深い学びを促す工夫がなされていると思われました。

次にI社の教科書についてですが、話合いの活動を促す工夫が強調されている点が印象的でした。

最後に J 社の教科書についてですが、別冊の「書写ブック」で、硬筆の扱い方や繰り返し学習等について触れられており、主体的な学びを促す工夫がなされていると思いました。

3社それぞれよいところがありましたが、私の選定としましては、繰り返しの学習と手書きについて重視していますので、H社とJ社を選びました。

○委員 　　いずれの教科書も、盛り込まれている内容は同様であり、大差がないと思いました。そのため、生徒にとって学習しやすい、頭に入りやすい、簡潔な体系となっているかどうか、ページが大きくて見やすいかどうかという点から選びました。

その結果、J社の教科書の体系がすっきりしており、学習しやすいと思いました。

また、I社の教科書は、判型が大きく、盛り込まれている内容が多いにもかかわらず、ページが見やすいと思いました。

したがって、私はJ社とI社を選びました。

○教育長 　　私は、前回推しました、H社とJ社を選びました。理由は、前回述べたとおりです。

出ました意見を集約いたしますと、J社を推された方が5名全員、I社を推された方が3名、H社を推された方が2名となりました。

本日冒頭申し上げたとおり、2社に絞り込みたいと考えており、推された方の人数により絞り込みますと、アルファベット順でI社とJ社ということによろしいでしょうか。

(各委員同意)

○教育長 　　それでは、書写については、2社に絞り込まれましたので、8月4日の協議で1社に絞りたいと思います。

(午前9時43分休憩)

(午前9時44分再開)

○教育長 　　休憩前に引き続き協議を再開します。  
次に、2番目の数学について協議します。  
数学につきましては、7月7日の協議でG社、K社、L社の3社

に絞ったところです。

○委員

数学につきましては、苦手意識を持たないよう配慮がなされているかどうか、そして目黒区の生徒たちは学力が高いので、発展問題も備えられているかどうかという点に注目して検討しました。

まず1社目ですが、G社がよいと思いました。G社の教科書では、各単元の導入で、生徒が日常生活で接するものを提示することで、スムーズな授業展開ができる工夫がなされている点がよかったです。また、各単元と各節の終わりに設問が設けられており、数学が苦手な生徒に配慮したつくりとなっている点もよかったです。

2社目はK社がよいと思いました。K社の教科書も、導入部分で子どもたちが興味・関心を持ちそうな内容が提示されている点や、「説明しよう」、「話しあおう」などのコーナーが設けられており、対話的な活動が組み込まれている点がよかったです。また、QRコードに関するコンテンツが充実している点も、よかったです。

○委員

G社、K社、L社につきまして、それぞれの特徴を改めて確認したところ、G社、K社、L社それぞれよいところが見つかり、選定が難しかったです。

まず、G社の教科書についてですが、学習をゲーム感覚で進めることにより、数学嫌いをなくそうという工夫がみられました。

次にK社の教科書についてですが、日常生活や社会とのつながりに関する記載が充実しているほか、継続的な学習により数学嫌いをつくりたくない工夫がなされていると思いました。

最後にL社の教科書についてですが、段階的な学習により数学嫌いをつくりたくないことに力を入れているという印象を受けました。ノートやレポートの書き方などを掲載することで、普段の学習をサポートする工夫も見られました。

以上の3社を比較しまして、日常生活や社会とのつながりに関する記載が充実しており、継続的な学習を促し、数学嫌いをつくりたくない工夫がなされている教科書がよいと思い、G社とK社を選びました。

○委員

3社の教科書いずれも甲乙つけがたく、判断が難しかったのですが、結論としましては、K社とL社を選びました。

K社の教科書につきましては、前回の協議で他の委員から意見がありましたとおり、様々な工夫がなされている教科書で、他の教科書と一線を画すものである印象を受けました。例えば、「みんなで学ぼう」と「自分から学ぼう」のコーナーにより、2通りの学習

ができる工夫が際立っていました。また、QRコードによる回答、解説を随所に設けており、生徒に自主的な学習を促す工夫も秀でたものである印象を受けました。

次にL社の教科書についてですが、中学生の段階では基本を繰り返し学習することが必要だと思ひまして、本書はその工夫に秀でていると思ひました。また、簡潔な構成になっており、分かりやすい点もよいと思ひました。

○委員 私は、数学については、得意不得意の差が出やすい教科であると思ひますので、生徒の能力を先生が見極められ、段階的に学習を進められる教科書がよいと思ひます。また、差が出やすい教科ですので、生徒の能力別に対応できる教科書がよいと思ひます。これら2つの視点から、私はG社とK社を推します。

○教育長 私は、G社とK社を推します。  
L社を外した理由ですが、数学を学ぶ理由を明示するため、他教科の学習との関連や、数学を身につけることが他の分野でも役立つことを言及して欲しいのですが、L社の教科書では、その点が他の教科書に比べて弱かったためです。

出ました意見を集約いたしますと、K社を推された方が5名全員、G社を推された方が4名、L社を推された方が1名となりました。

推された方の人数により絞り込みますと、アルファベット順でG社とK社ということによろしいでしょうか。

(各委員同意)

○教育長 それでは、数学については、2社に絞り込まれましたので、8月4日の協議で1社に絞りたいと思ひます。  
ここで議事の都合上、暫時休憩とします。

(午前9時53分休憩)

(午前9時54分再開)

○教育長 休憩前に引き続き協議を再開します。  
次に、3番目の理科について協議します。  
理科につきましては、7月7日の協議でG社、I社、K社の3社

に絞ったところです。

○委員

まずG社の教科書につきましては、対話による学習や、自学自習により、理科を好きにさせる工夫が優れている印象を受けました。

次にI社の教科書につきましては、自己チェックなどにより学びを深める工夫や生活に生かす工夫が優れていると思いました。

最後にK社の教科書につきましては、課題を解決する過程を重視したつくりになっていると思いました。そして、最後に巻末シートで自身の科学的態度の到達度を確認させる工夫がなされています。

以上、3社の教科書を比較しましたが、私は、課題解決の過程、対話による学習、自学自習に配慮した教科書がよいと思いましたので、G社とK社を選びました。

○委員

結論から申し上げますと、I社とK社を選びました。

I社の教科書につきましては、実験についての基本操作、準備の説明が丁寧に記載されており、理科に不可欠な実験を重視している姿勢が見られましたので、その点を評価しました。また、「探究」の項目では、気づき、課題、仮説等の流れで記載されており、丁寧な説明がなされている点も評価しました。

次にK社の教科書につきましては、各項目についての記述が親切、丁寧であることや、随所に「基本のチェック」欄があり、理解・知識を着実に固める工夫があるほか、発展問題が充実しており、生徒が自分で学習する工夫がなされている点を評価しました。

最後にG社の教科書につきましては、他の教科書と比較すると、写真等が充実している一方、文章が短く、説明部分が物足りない印象を受けました。

○委員

私は、多くの人たちと対話をし、自分で課題を見つけ、探究するおもしろさが身につけられる教科書がよいと考えています。

G社の教科書については、各節ごとの課題に対して自分の考えを書き込み、他人と比較し、学びを深めるつくりがあり、おもしろいと思いました。

また、G社とK社の教科書は、どちらもクラスの人たちとの対話により学び、振り返りをするつくりとなっていますが、G社の教科書のほうが様々な工夫がなされていると思いました。

I社の教科書については、日常生活から探究するおもしろさを引き出すつくりとなっている点がおもしろいと思いました。

以上から、私はG社とI社を推薦します。

○委員 理科についても、苦手意識を持つ生徒が多い教科ですので、日常生活と理科との結びつきを示し、興味・関心を引き出すつくりであり、基本的な知識や技能の定着に役立つ工夫がなされている教科書がよいと思い、3社の教科書を見比べました。

結論から申し上げますと、G社とK社がよいと思いました。この2社を選んだ理由としては、教科書の单元末の学習内容の振り返りが充実しており、用語の解説、確認問題がしっかりしているためです。

I社につきましては、知識の定着、QRコードの利用方法、コラム欄の充実度の点でG社とK社の方が優れていると思いましたので、選択しませんでした。

○教育長 私が、前回選択しましたのがG社とK社でしたので、その2社を選択します。理由についても、前回述べたとおりです。

出ました意見を集約いたしますと、G社を推された方が4名、K社を推された方が4名、I社を推された方が2名となりました。

推された方の人数により絞り込みますと、アルファベット順でG社とK社ということによろしいでしょうか。

(各委員同意)

○教育長 それでは、理科については、2社に絞り込まれましたので、8月4日の協議で1社に絞りたいと思います。

ここで議事の都合上、暫時休憩とします。

(午前10時1分休憩)

(午前10時2分再開)

○教育長 休憩前に引き続き協議を再開します。

次に、4番目の歴史について協議します。

歴史につきましては、7月14日の協議でG社、H社、I社の3社に絞ったところです。

○委員 結論としまして、私はH社とI社を選びました。

H社の教科書につきましては、学習のテーマのタイトルに「いざ鎌倉」、「このごろ都にはやるもの」、「将軍のおひざもと」、「天下の台所」等の有名なキャッチフレーズを用いてまして、印象に残

りやすい工夫だと思いました。また、各章の後の「学習のまとめと表現」のコーナーも分かりやすい内容になっていると思いました。

I社の教科書につきましては、各章の冒頭に「タイムトラベル」という見開きの絵がついており、それによって各時代の雰囲気をつかむことができる工夫がなされていると感じました。また、随所にある「未来に向けて」のコラム欄の中で、人権、平和、環境といった現代的なトピックスを掲載する工夫がなされているところが、生徒の興味を引くと思いました。また、「歴史を探ろう」などの読み物が充実している点もよかったです。

○委員

私は、過去の文化や事例の伝承を現在の生活に生かし、よりよい社会を築くための創造力を養える教科書がよいと思います。また、歴史を事実として中立的な立場で記載しており、各時代の生活、文化などをイメージでき、想像力を掻き立てるような教科書がよいと思います。

3社いずれの教科書も、歴史を中立的な立場で記載しており、表現にも特段気になる点はありませんでした。

その中で、結論を申し上げますと、私はG社とI社を選びました。

G社の教科書は、写真や絵が大きく掲載されており、また、対話により学ぶ工夫がなされている点がよいと思いました。また、年表で、日本と世界が並列で記載されており、世界との関係が分かりやすい点もよいと思いました。

I社の教科書は、各章ごとに「タイムトラベル」という見開きを用いて、その時代の生活が一目で理解できる工夫がなされており、人々の生活の歴史を身近に感じることができるつくりとなっている点がよかったです。

○委員

まず1社目は、G社がよいと思いました。G社の教科書は、基本的な知識を学びやすく、論理的な思考を展開するツールが提示されており、発展的な内容の記載も豊富で、対話的な活動のコーナーも充実している優れた教科書だと思いました。

2社目につきましては、I社の教科書の「タイムトラベル」のページが生徒の興味を引く点、未来の社会をつくるため、参考となる先人たちの取組を紹介したコラム欄が充実している点などから、I社としました。

○委員

まずG社の教科書についてですが、対話により学習させる工夫や各時代の特色の伝え方が優れていました。また、現代の課題である少子高齢化やSDGsなどの課題について取り上げている点も

よいと思いました。

次にH社の教科書についてですが、歴史新聞づくりなどにより情報を整理し、学習を定着させる取組がおもしろく、優れた工夫だと思いました。

最後にI社の教科書についてですが、地理や公民など、他教科との関連を意識したつくりがなされている点がよいと思いました。

いずれの教科書も、甲乙つけがたいものでしたが、他の教科との関連性や現代的な課題まで言及された教科書がよいと思ひまして、G社とI社を選びました。

○教育長 私は、前はG社、H社、I社の3社を推しました。本日推しますのは、G社とI社の2社です。

歴史の教科においては、中学生に定説を身につけてほしいと考えています。そして、歴史上の一つの出来事にも、多様な見方があるということも学んでほしいと考えており、この2点をポイントとして教科書を見ました。

そうしますと、この3社の中では、H社がその点で弱いと判断しまして、G社とI社としました。

出ました意見を集約いたしますと、I社を推された方が5名全員、G社を推された方が4名、H社を推された方が1名となりました。

推された方の人数により絞り込みますと、アルファベット順でG社とI社ということによろしいでしょうか。

(各委員同意)

○教育長 それでは、歴史については、2社に絞り込まれましたので、8月18日の協議で1社に絞りたいと思います。  
ここで議事の都合上、暫時休憩とします。

(午前10時12分休憩)

(午前10時13分再開)

○教育長 休憩前に引き続き協議を再開します。  
次に、5番目の公民について協議します。  
公民につきましては、7月14日の協議でG社、H社、I社の3

社に絞ったところ です。

○委員

私は、公民に関しては、日常生活の様々な問題を皆と話し合いながら、自分で考える力が養える教科書がよいと思いました。その視点で、教科書を見たところ、G社の教科書は、皆で問題を一緒に考え、学び終えた後に、学びの成果を皆で確認でき、自分自身の変化に気づける工夫がなされていると思いました。

H社の教科書でも、先生の説明の後に、皆で話し合い、要点を整理し、記録するつくりとなっています。

3社の中では、G社とH社の教科書が話し合いに重点を置いたつくりになっていると思いました。

また、社会保障について、自助・共助・公助の観点からどのような記述をされているのか3社の教科書を比較しました。

G社の教科書では、自助・共助・公助についての説明は本文ではなく、図で行っています。今後、高福祉・高負担の社会とすべきか、低福祉・低負担の社会とすべきかグループで意見交換をする取組を設けており、生徒に考えさせる工夫がみられました。

次にH社の教科書では、自助・共助・公助についての説明を本文で行い、どのような社会保障制度がよいか考えさせる工夫がみられました。

最後にI社の教科書では、自助・共助・公助についての説明を本文で分かりやすく行っており、公共サービスの充実と税負担の増加について考えさせる工夫もみられました。

G社の教科書については、分かりやすい具体例を挙げ、皆で課題を考えさせる点を、I社の教科書については、本文がとても分かりやすい点を特に評価し、G社とI社を選択します。

○委員

3社いずれの教科書も、基礎的な知識・技能の習得をさせつつ、主体的・対話的で深い学びができる工夫が随所にみられました。具体的には、課題の提示、確認、学習の振り返り、SDGsなどに関する記述がどの教科書も充実していました。

その中で、私は、学習指導要領の改訂ポイントである防災情報の発信・活用や、選挙権の年齢引下げについて比較しました。

G社の教科書についてですが、防災情報の発信・活用に関して、東日本大震災に関する内容が盛り込まれていました。また、「18歳へのステップ」というページを設けており、選挙権の年齢引下げについて記載されていました。

次にI社の教科書についてですが、防災情報の発信・活用に関す

る記述がH社の教科書のものより多い点、コラム欄が充実している点、グループ活動の内容がおもしろい点がよかったです。

最後にH社の教科書についてですが、性の多様性についての記述がある点がよかったですのですが、総合的に勘案した結果、G社とI社を選びました。

○委員

まずG社の教科書についてですが、持続可能な社会の実現を目指した学びから学習を始める構成が印象的でした。また、トゥールミン図式など、思考の整理ツールについて紹介している点がよかったです。

次にH社の教科書についてですが、ディベートの基本技能など、自身の主張を力強くアピールするための工夫や、クラウドファンディングなどの現代の取組を紹介している点が特徴的でした。

最後にI社の教科書についてですが、身近なまちの取組の中でSDGsを実現させるため、どのようなことが必要か生徒に考えさせる工夫がなされていました。また、対話的な学びが重視されたつくりとなっている点を評価しました。

私は、持続可能な社会の実現、SDGsを中心に据えて公民の学習を進めていくとともに、基礎知識が確実に習得でき、思考の整理ツールなどにより思考力を高められ、対話的な学びを育む工夫がなされている教科書がよいと思いましたので、G社とI社の2社を選びました。

○委員

3社の教科書は、いずれも内容が似たものであるため、甲乙つけるのが難しかったです。そこで、私は、日本国憲法や人権、民主主義、社会経済といった基本原則が分かりやすく書かれているかどうかという観点から比較しました。

その結果、G社の教科書の憲法について詳細に記載されているところがよいと思いました。また、I社の教科書も、内容に遜色なく、すっきり読めるため、G社とI社を選びました。

H社の教科書については、他の教科書と内容に差はありませんが、民主主義、人権、平和主義という基本原則が、全て日本国憲法で保障されているという体系的な一貫性が感じられなかったため、外すこととしました。

○教育長

私は、G社とI社を推します。

H社を外した理由ですが、掲載されている写真について、最後まで気になりましたので、外すこととしました。

出ました意見を集約いたしますと、G社とI社を推された方が

5名全員ということですので、この2社を採択候補とするということでもよろしいでしょうか。

(各委員同意)

- 教育長        それでは、公民については、2社に絞り込まれましたので、8月18日の協議で1社に絞りたいと思います。  
ここで議事の都合上、暫時休憩とします。

(午前10時23分休憩)

(午前10時24分再開)

- 教育長        休憩前に引き続き協議を再開します。  
次に、6番目の英語について協議します。  
英語につきましては、7月21日の協議でG社、H社、I社の3社に絞ったところです。

- 委員         英語は、語学ですので、最終的な到達点は英語を使えるようになることだと思っています。

ただ、そこに至るまでに、まずは英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする意欲が引き出される工夫がなされているかどうか重要だと考えています。

その工夫とは、英語が不慣れであっても、使いたいと思わせるフレーズが場面状況とともに記載されていること、そして、文法が分かりやすく説明されていることです。

3社いずれの教科書も、小学校で学んだことの振り返りや、中学英語への準備のページなどを設けており、日常で使える表現を示すページもありましたが、次に申し上げる4点の理由から、G社とI社を選びました。

1つ目は、メインレッスンの構成が非常にシンプルで分かりやすいこと。2つ目は、レッスン内で学習すべき文法が分かりやすく説明されていること。3つ目は、メインレッスン以外の日常場面における英語の内容やボリュームが適切であり、その紙面構成がH社の教科書より優れていること。4点目は、巻末の単語がアルファベット順だけでなく、シチュエーション別にまとめられているなど、巻末資料が充実していることです。

- 委員            まずG社の教科書についてですが、文法の自習をサポートする工夫がたくさんありました。また、辞書の使い方など、英語を学習する上で必要な知識を習得させる工夫が優れていると思いました。
- 次にH社の教科書についてですが、英語の学習をスムーズに始めるための工夫が優れていると思いました。また、スピーチの完成度を高めるため、マッピングや原稿づくりなどのコーナーが設けられており、優れた工夫だと思いました。
- 最後にI社の教科書についてですが、多種多様な対話による学習の項目が設けられており、優れた教科書であると思いました。
- これらの教科書を比較しまして、私は、対話による学習や自習を促すための工夫がなされた教科書がよいと思いましたので、G社とI社を推薦します。
- 委員            私は、英語につきましては、前回、G社とI社を選びました。今回、改めて見直しまして、掲載されている英文の内容と量の適切さという点と、文法の要点を押さえているかどうかという点から見比べた結果、G社とI社を選びました。
- 委員            私は、目黒区の生徒の英語力が中学校卒業時の目標値に達していない現状を踏まえ、英語力の底上げが必要であり、そのためには、小学校の学習が十分になされているということを確認し、さらに発展させていく必要があると思います。
- 3社いずれの教科書にも小学校の振り返りは掲載されていますが、G社とI社の教科書が特に振り返りを重視したつくりとなっていると思いました。特に、I社の教科書は、教室で使う基本会話など基礎部分の振り返りを重視したつくりになっていると思いました。
- また、目黒区の小学校は、現在G社の教科書を使用しています。G社の教科書の巻末では、小学校の単語が掲載されており、これを習得させる工夫がなされています。
- また、G社とI社の教科書では、文法について、目次から何を学べるか記載されています。
- 以上の点を総合的に勘案しまして、G社とI社を推すこととしました。
- 教育長          私は、G社とI社を推します。
- 英語の教科書については、小学校時代の学びとの接続を意識したものであること、実際にコミュニケーションを取る場面で活用する力を身につけられるものであること、この2つの観点から比

較検討しまして、この3社の中では、相対的にG社、I社がH社よりもよくできていると判断しました。

出ました意見を集約いたしますと、G社とI社を推された方が5名全員ということですので、この2社を採択候補とするということでもよろしいでしょうか。

(各委員同意)

- 教育長       それでは、英語については、2社に絞り込まれましたので、8月18日の協議で1社に絞りたいと思います。  
ここで議事の都合上、暫時休憩とします。

(午前10時31分休憩)

(午前10時32分再開)

- 教育長       休憩前に引き続き協議を再開します。  
本日最後の道徳にまいります。  
道徳につきましては、7月21日の協議でG社、H社、J社の3社に絞ったところです。

- 委員       道徳につきましては、それぞれの会社の教科書で印象に残ったことを述べたいと思います。

まずG社の教科書についてですが、対話による学習を意識したづくりとなっているほか、振り返りや他教科に関連した記述も充実しており、それらの点が他社の教科書より優れている印象を受けました。

次にH社の教科書についてですが、巻末資料が特徴的でして、都道府県にゆかりのある人物が紹介されており、その人物に関連させ、道徳の学習を進める工夫がおもしろかったです。

最後にJ社の教科書についてですが、情報モラルを題材として学習を進める箇所があり、現代社会の問題を取り上げて学びにつなげる点がよかったです。

道徳は、新たにつくられた教科であり、他の教科と関連させながら学習を進める必要があると考えています。また、現代社会の問題に密接に関わりますので、現代社会の問題を取り上げ、学習につながる教科書がよいと思いました。

結論として、私はG社とJ社の2社を推します。

○委員 私は、中学生に読んでもらいたい文章がより多く含まれている教科書を選ぼうと思ひまして、G社とH社を選びました。

特に、H社の教科書については、裁判員制度を取り上げているというところがよかったです。

○委員 私は、話し合いと振り返りを通して、生徒自らが主体的に物事を考え、道徳的価値観の変化を感じさせる教科書や、いじめ問題を重視し、いじめを多様な面から考えさせる教科書がよいと思ひました。

3社の教科書とも、いじめ問題を重視しており、多面的な取扱いがなされているため、遜色ないと思ひました。

G社の教科書では、巻頭の見開きに記載されている話し合いの手引きが分かりやすく、具体的に書いてある点、1年間で学ぶ4つのテーマが明確になっている点や、学習後の振り返りを重視したつくりになっている点がよかったです。

また、J社の教科書の別冊ノートが学習後の振り返りを重視したつくりになっている点もよかったです。

以上の点から、私はG社とJ社を選びました。

○委員 3社いずれの教科書も、題材に対する設問もシンプルで、子どもたちが自由に思考を広げ、深められる構成になっています。また、その内容も、バランスよく配置されており、中学生目線の題材も十分に掲載されていると思ひました。

ただ、H社の教科書は、読み物が続くため、変化に乏しい印象を受けました。一方G社の教科書では、いじめの読み物の後に怒りの感情と向き合う項目が設けられていたり、安全への心構えの読み物の後に自転車五則の紹介を掲載するなど、変化をつけ、題材の参考となるものが掲載されています。

また、J社の教科書も同様に、ロールプレイングや探究の対話の方法の紹介など、変化をつける内容が設けられていました。

私は、生徒たちの興味を引く構成になっている点を重視し、G社とJ社を推薦します。

○教育長 私は、G社とJ社を推します。

H社を除いた理由ですが、3社の教科書いずれも、生徒たちによく考えさせるという点ではよくできていると思ひました。ただ、H社の教科書については、紙面構成の点で工夫が物足りないと感じましたので、外すこととしました。

出ました意見を集約いたしますと、G社を推された方が5名全



した。

○委員 資料の40ページの項番7の「不登校等への対応の取組の推進」で、「学業の不振による不登校の未然防止のための学習支援を実施する。」と記載されています。事務局として、新たな学習支援を行うことを検討されているのでしょうか。

○説明員 新たな学習支援を行う予定はございません。現在、めぐろエメールでは、eラーニングによる学習支援を行っていますが、その支援を強化していくということでございます。

○教育長 資料の36ページと37ページに学識経験者からの意見が記載されていますが、項目の見出し部分の字体をゴシックにするなど、見やすくなるような工夫をしてください。

○説明員 承知しました。議案として提出する際には、修正して提出いたします。

○教育長 その他ご質問等ございますか。  
特にないようですのでこの協議を了承いたします。  
次に日程第3を議題とします。

(日程第3 報告事項 令和2年度目黒区一般会計補正予算(第3号)の内示について)

○説明員 (資料により説明)

○教育長 この件についてご質問等はございませんか。

○委員 資料の3ページの3番の「特別支援教育支援員の支援時間拡充」の要求額が減額されていますが、減額しても事業に支障はないのでしょうか。

○説明員 「特別支援教育支援員の支援時間拡充」につきましては、2,500万円余を要求いたしまして、実際の査定額が300万円余でした。ただ、要求額の減額分につきましては、今後の執行状況を見極めた上で、改めて要求していくこととしますので、事業に支障が生じることはございません。

○教育長 その他ご質問等ございますか。  
特にないようですのでこの報告を受けました。  
次に日程第4を議題とします。

(日程第4 報告事項 令和3年度隣接中学校希望入学制度の実施について)

- 説明員 (資料により説明)
- 教育長 この件についてご質問等はございませんか。
- 委員 隣接小学校希望入学制度は、当面休止ということですが、いじめなどの特殊な事情があった場合、どのように対応するのでしょうか。
- 説明員 隣接小学校希望入学制度は休止していますが、様々な事情により、他の学校に通いたいという希望をお持ちの保護者の方はいらっしゃいます。指定校変更制度という制度が別にございますので、事情を確認し、この制度が適用できるかどうか確認の上、適切に対応しているところでございます。
- 教育長 その他ご質問等ございますか。  
特にないようですのでこの報告を受けました。  
次に日程第5を議題とします。

(日程第5 報告事項 目黒区立八ヶ岳林間学園の臨時休園について)

- 説明員 (資料により説明)
- 教育長 この件についてご質問等はございませんか。  
特にないようですのでこの報告を受けました。  
次に日程第6を議題とします。

(日程第6 報告事項 区立小学校における新型コロナウイルス感染症の発生について(7月24日時点))

- 説明員 (資料により説明)
- 教育長 この件についてご質問等はございませんか。
- 委員 感染した子どもの感染経路は、把握されているのでしょうか。
- 説明員 感染の状況につきましては、把握をしてございます。
- 教育長 その他ご質問等ございますか。  
特にないようですのでこの報告を受けました。

- 資料配布
- ・令和2年9月行事予定表
  - ・令和2年度目黒区立中学校における部活動の状況について

○教育長            その他なにかございますか。  
                      以上で本日の定例会を閉会します。

(午前11時45分閉会)